

2024 年度「卒業論文」

東京経済大学コミュニケーション学部 山田晴通ゼミ

森山 祐多 「ビートルズと音楽ビジネス」

要旨

この論文ではビートルズについて主に音楽的部分以外でビートルズがイギリス、リヴァプールにて売れた理由について論じる。ビートルズの影響を述べた上で当時のリヴァプールという都市の特徴からロックンロールの受容から始まり、階級制度や宗教、社会性とビートルズの関係性についてまとめていく。そしてビートルズに大きな影響与えたとされているマネージャー、ブライアン・エプスタインについて述べたのちにブライアンが行った音楽ビジネスについて論じる。結論としてイギリスでビートルズが有名になったのはなぜか改めて確認することとする。

まず、第一章ではビートルズが与えた影響について述べていく。ビートルズが音楽的に売れた理由、ビートルズが売れた結果どのようなことが起こったのか、などに関する事象をファッション、録音技術、売り上げなどの部分に分けて述べていく。音楽理論に関しては“*If I Fell*”を取り上げて記述していく。

次に、第二章ではリヴァプールという都市について書いていく。当時のリヴァプールと言う都市は世界的な湊湾都市であり、港湾都市というのは、多くの労働者が集まることから、独特のエレルギッシュで大衆的な雰囲気形成されやすい都市であった。また、港を通じて外国との接触が盛んであるため、最新の海外文化やトレンドがいち早く流入し、それが街の文化的特徴に影響を与えていたとされている。このような事柄とロックンロールの受容を関連付けて述べていく。

第三章ではビートルズが売れた要因として当時のイギリスの階級制度や宗教、社会性について述べていく。今の時代では階級や宗教などによってバンドが売れる、売れないは関係ないが、この1960年代イギリスにおいては階級や宗教が深く関係している。この部分はビートルズが売れた理由として音楽的な部分とは違った観点の為取り上げることにする。

ここまではロックンロールやリヴァプールの社会性についてまとめてきたが、第四章ではビートルズに影響を与えたとされるブライアン・エプスタインについて述べていく。ブライアン・エプスタインはビートルズの容姿や振る舞い、言動など音楽以外の部分での売れるための戦略を立てるなどの今までのバンドでの考え方とは違うものを取り入れるなどして、ビートルズに対する評価を変えていったのである。

最後に自分はビートルズについて知らなかったことばかりで、音楽を深く知るために誰もが知っているビートルズを調べたのだが、今の時代においてもバンドが売れる戦略や時代に合った形で活動をするということが大事だということがわかった。今回を通じて音楽について深く知る良いきっかけとなった。